

浴室リモコン工事説明書



OKR021-2

△注意 表示について（表示の意味は次のようになっています）
この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△注意 工事される方へのお願い

- 機器を正しく安全にご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになってから指定された工事を行ってください。
工事の際は電気設備基準などの関連法規を遵守してください。
- 本品を指定する機器に使用してください。

部品の確認

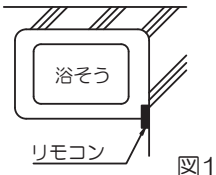
- 梱包内には下記の部品が入っています。取り付け前にご確認ください。
- 台所リモコンが同梱されている場合があります。取り付けに関しては、それぞれの工事説明書をお読みください。

名 称	形 状	個数	名 称	形 状	個数
浴室リモコン		1	リモコン固定金具		1
			(壁貫通取り付けの際は不要)		
名 称	形 状	個数	名 称	形 状	個数
木 ね じ	(4×25)	2	取扱説明書		1
カールプラグ	(6×25)	2	工事説明書		1
Y 型 端 子	(M3用)	2	パ ッ キ ン		1
閉端接続子		2		(壁貫通取り付けの際に使用)	

△注意 工事前のご注意

■設置場所のご注意

1. 低電圧(24V)で防水もしており危険はありませんが、浴室内なるべくお湯または水がかからない場所で操作しやすい所に設置する。
2. 入浴中に浴槽の蓋などで、リモコンが隠れてしまうような場所（例えばフロタフックの近くなど）は避けて設置する。



■リモコンコード（別売部品）の配線

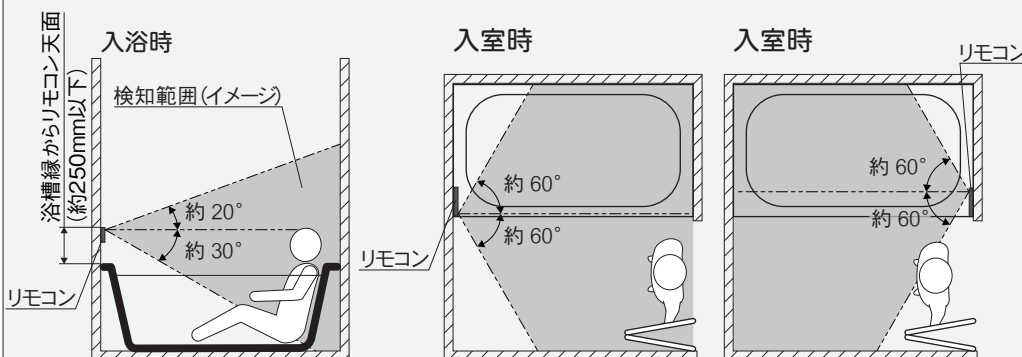
1. リモコンコードは1つのリモコンに付き長さ25m以内で使用する。
25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。
2. リモコンコードは指定品を必ず使用する。
3. リモコンコードを貫通させる壁面は、外側から屋内に上がり勾配で穴をあけコードを通した後は防水のためシールする。

■人感センサー付き浴室リモコンの取り付け位置について

1. 浴室に人が入ったときや入浴中に人感センサーが確実に検知する位置に取り付ける。
2. 検知範囲に人が通らないような場所に設置しない。
3. 検知範囲に冷暖房機器などの発熱体や吸熱体がある場所に設置しない。
非検知や誤動作の原因になります。

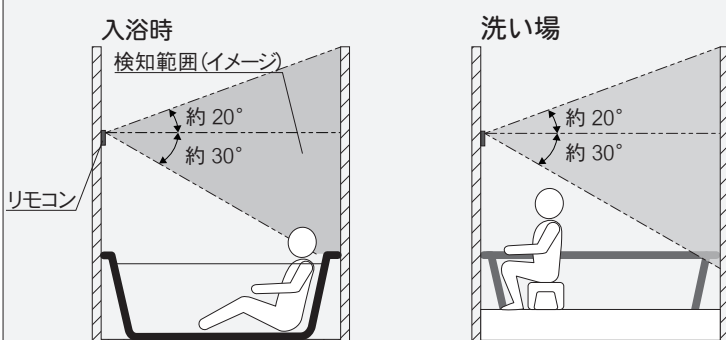
【検知範囲】 上下＝約 50° 左右＝約 120° 距離＝約 2m

横から見た図（上下の範囲） 上から見た図（左右の範囲）



横から見た図（上下の範囲）

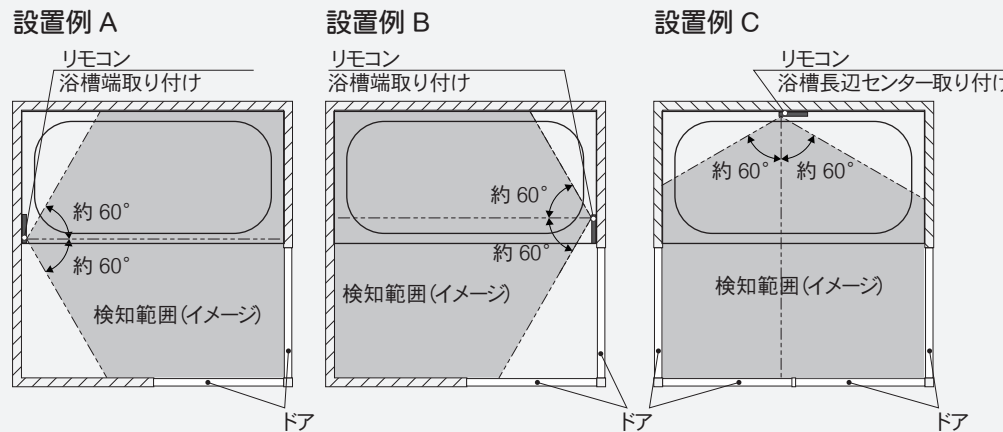
※リモコンを高い位置に取り付けると、小柄な方や洗いの低い位置での人の検知がしにくい場合があります。



リモコンの取り付け位置

【取り付け位置例】

浴室ドアの位置によって、リモコンの取り付け位置が異なります。
下図設置例を参照し、リモコンの取り付けを行ってください。
本書をリモコンの取り付け面に当て、焦電センサ検知範囲（図 14）を参考に、人を検知できる位置に取り付けてください。



△注意 設置工事

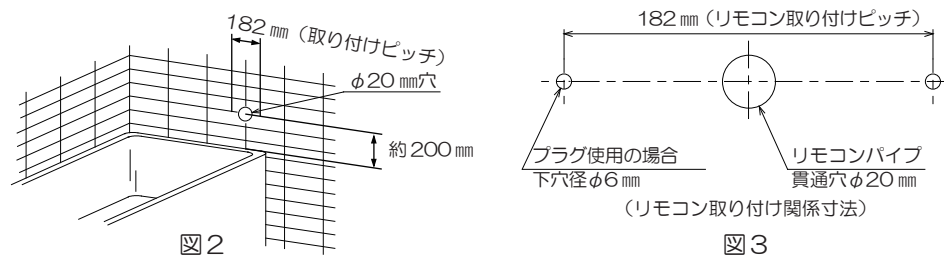
■取り付け上の注意について

1. リモコンおよび、それに関連したリモコンコードの取り付け、接続は小勢力回路に該当しますので資格がなくても施工が可能です。工事の際は次の法、基準に従って設置する。「電気設備技術基準」「電気工事士法」「内線規定」「電気用品安全法」「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会発行）」
2. リモコンコードは保護のため電線管もしくはC D管を用いて通線する。
電線管の内径はφ 18mm以上のものを使用してください。
3. リモコンコードは他の製品のリモコンコードや他の電気製品の電源コードとの並走は行わない。機器が正常に作動しない場合があります。
4. リモコンコードを途中で中継してリモコンからリモコンへ配線しない。
1つのリモコンに対し、1本(2心)のリモコンコードを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
5. くぎ打ちのおそれがある場合には、コードを厚さ1.2mm以上の亜鉛メッキの鋼板にて保護をする。
6. リモコンコードは屋外から屋内に向けて、通線する。
7. リモコンの全周（図 6・図 7・図 8）および防水カバーの全周（図 13）のコーキング（壁内部への水の浸入の防止）を行う。
8. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングを起こすことがあります。
通話テストは浴室の扉を閉めた状態で行ってください。

※機器本体とリモコンコードの接続方法につきましては、機器本体の工事説明書をお読みください。

壁面直取付・ユニットバス取付の場合

1. 壁にφ 20mmの穴をあける。（図 2・図 3）
2. リモコン取付用の穴をあける。
 - ・壁面直取付の場合は、φ 6mm・深さ30mmの穴をあけ、付属のカールプラグを打ち込みます。（図 7）
 - ・ユニットバスの場合は、φ 5mmの穴をあけ、リモコンを取り付けるユニットバス外壁面に裏打板を取り付けます。（図 8）

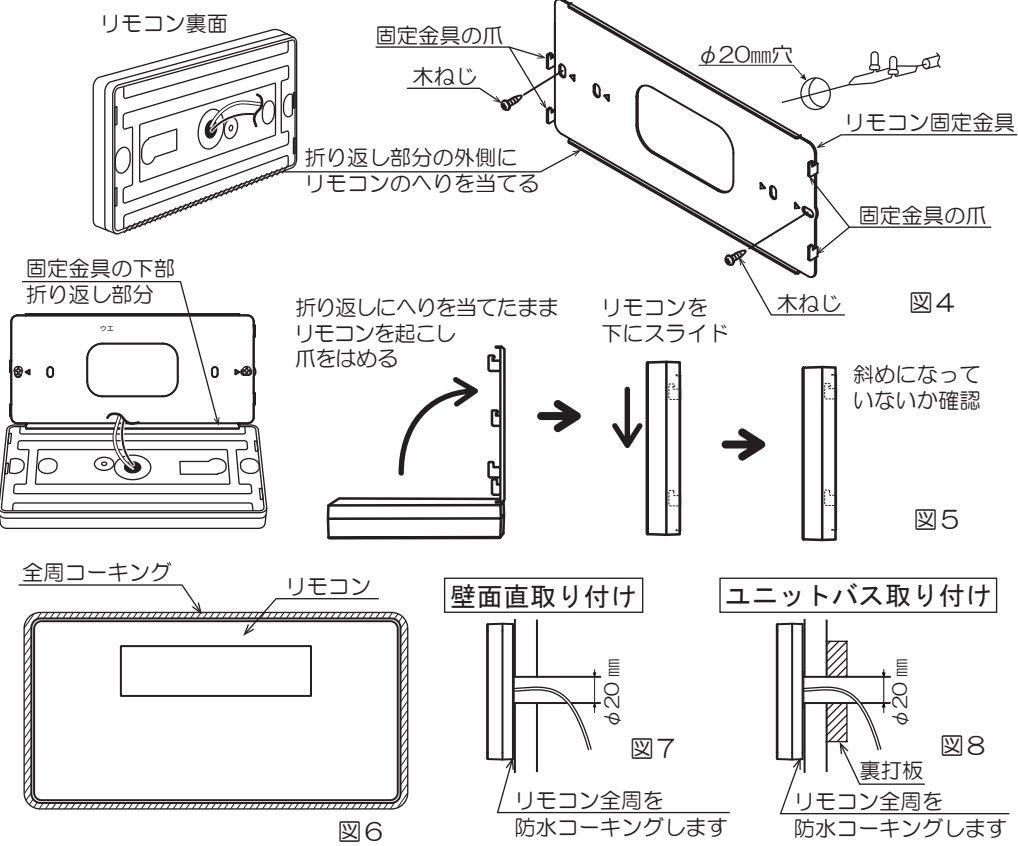


注）リモコンから出ているコードの位置と壁面の貫通穴を合わせてください。

裏面に続く

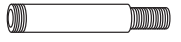
浴室リモコン工事説明書（裏面）

3. リモコンコードを7mmほど皮むきして、中継コード（長さ約400mm）の閉端接続子に挿入し、しっかり圧着する。（図12）
4. 固定金具を付属の木ねじ2本で壁に水平になるよう固定する。
締め過ぎに注意してください。ドライバーで必ず手回して締め、インパクトドライバーや電気ドライバーは使用しないでください。（図4）
5. リモコンと固定金具の中央を合わせ、裏面下側のへりを固定金具の下部折り返しの外側に当てたまま、リモコンを起こし爪（4か所）を確実にはめたら、しっかり止まるまで下にスライドする。（図5）
6. 必ずリモコン全周をコーキングする。（図6・図7・図8）
コーキングを忘れると、リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。



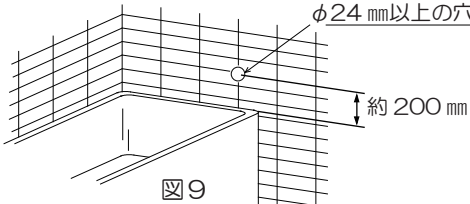
壁貫通取り付けの場合

下記別売部品を使用します。

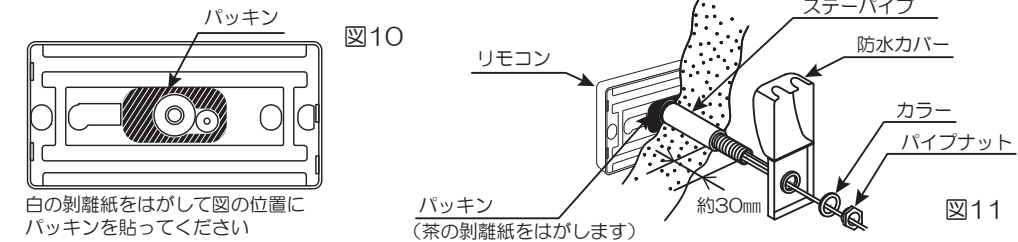
別売部品			
名 称	部 品 コード	形 状	用 途
屋外 カバーセット	WP000	 （カラー パイプナット 在中）	壁貫通取り付けを行う 場合に使用します。
		 （φ24mm 130～205mm）	

1. 壁にφ24mm以上の穴をあける。標準タイプの取付壁厚は130～205mmです。（図9）
※取付壁厚が205mm以上の場合は特注となり、以下の部品が必要となります。

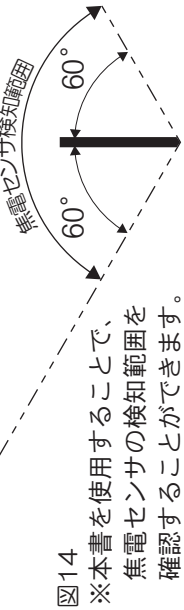
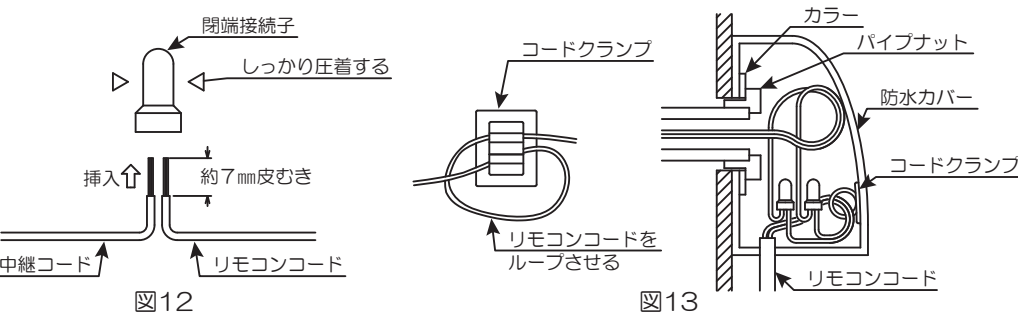
名 称	部 品 コード
内パイプ組立	W P 0 0 8
リモコンソケット	A リ 0 1 3



2. リモコンの裏面に、白の剥離紙をはがし、パッキンを貼り付ける。（図10）
3. スターパイプにリモコンの中継コードを通し、リモコンにスターパイプをねじ込み、取り付ける。（図11）
4. スターパイプが外壁面より30mmほど出るようにスターパイプのねじで長さ調節をして、壁の穴に挿入する。（図11）
5. パッキンの茶の剥離紙をはがし、リモコンが水平になるように壁に貼り付ける。
6. 屋外で、防水カバーのふたをあげ、防水カバー・カラーの順で中継コードおよびスターパイプに通す。（図11）
7. パイプナットをスターパイプに締めつける。
（締め過ぎに注意してください）（図11）



7. リモコンコードを7mmほど皮むきして、閉端接続子に挿入し、しっかり圧着する。（図12）
8. 接続部が防水カバー内に収まるよう、コードクランプで固定する。（図13）
また、防水カバー全周のコーキングを行う。
9. 必ずリモコン全周をコーキングする。（図6・図7・図8）



※本書を使用することで、
検電センサの検知範囲を
確認することができます。